

【第2号議案】

平成27年度（第6期）倉橋部町グリーンファーム活動基本方針について（案）

《活動基本方針》

昨年12月に行われました年末の衆議院選挙で自由民主党が圧勝し、今後とも安倍政権による「アベノミクス」が継続される事が決定されました。しかながら、「アベノミクス」の影の部分として、賃金上昇を上回る物価上昇、格差の拡大、見えなくなった財政悪化と市場規律の喪失などがあげられます。

一方、昨年度我々の農業を取り巻く状況は、かつて経験した事のない大変厳しい1年となりました。とりわけ米価は、平均1袋(30kg)3,000円の大幅な下落の中、品質の悪化とも相まって、当組合における主幹農作物である水稻の農業収益は前年対比で約362万円の減少となりました。さらに、「経営所得安定対策」による米の直接支払交付金が1反あたり15千円から7.5千円に半減された事により約100万円の減少、逆に農業原価である種苗費、肥料・農薬費、修繕費の約112万円の増加により、平成19年度当組合設立以来初の2,250,719円の赤字決算を計上するに至りました。

今年度の事業計画を策定するにおいて、基本的に次の3点を念頭に置き作成致しました。

- ① .昨年度と同様のやり方で事業を行っている则昨年と同額の赤字を計上する為、全部門で無駄と思える項目は極力カットしました。
- ② .当組合に対する補助金等については、極力受入できるような事業展開に一部変更しました。
- ③. 上述 ①. ②. を施しても未だ歳入不足が発生する為、【第8号議案】 平成27年度組合支払（地代 他）の変更について（案） 【第9号議案】 平成27年度役員報酬の変更について（案）により支払額の減額をご提案いた

〔倉橋部町の農地は倉橋部町で守る!〕 〔次世代の為に新しい農業を構築しよう!〕

します。

また、懸案の太平洋戦略的経済連携協定(TPP)については、本年早晩に米を含む全般の方向性が示されると思われますが、政府が掲げるTPP加入と農業の成長産業化とは絶対に両立しない事を、我々農家自身が再認識すべきでもあります。

今年度当グリーンファームは、かつて経験した事がない内外の大きな「変革のウネリ」を踏まえつつ、従来にも増した緻密で効率的な経営を実践いたさなければなりません。

以上、今年度役員全員は組合発展に向けて奮闘いたしますので、全組合員一丸となって当初目的達成にご尽力賜りたくお願い申し上げます。

《「アベノミクス」で言う”三本の矢”とは？》

1. 大胆な金融政策・・・・・・・・・・第一の矢
2. 機動的な財政政策・・・・・・・・・・第二の矢
3. 民間投資を喚起する成長戦略・・・第三の矢

《スローガン》

- ◎倉橋部町グリーンファームは、農業の協働化を通して効率的な農業経営の実現と、組合員共働の利益の増進を図る。
- ◎倉橋部町グリーンファームは、協業集落型経営体（集落一農場）のもと、過去より引き継がれたこの倉橋部町の美田を守り、今後新しい世代への引き継ぎを図る。

《活動方針》

総務部

- 部門別(水稻、小麦、大豆)損益の把握できる資料の作成を行う。
- 組合飯用米代金の増益を目的として、近隣団地等への販売拡大に取り組む。
- 近隣の農事組合法人との連携強化の働きかけを行う。
- 労務費の作業別・班別分析を行う。

営農部

- 組合員全員による相互理解のもと、自主性や協力性を高めながら、やりがいのある営農活動を進める。
- 組織の充実と活性化により、担当役員を中心とした計画的な営農作業の推進の取り組みを図る。
- 新たな農政の展開と併せ、集落ぐるみで農地を守る取り組みと農地の総合的な利用を図り、生産調整の達成や環境こだわり米の栽培、小麦あと大豆の高度利用等へ積極的に取り組む。
- これまでの実績や反省をふまえつつ、作業に応じた協業化と専門性を生かし、農作業の効率化と生産性の向上を図りより良い品質確保と収穫量のアップにより売れる米づくりをめざす。
- 環境保全活動に留意した濁水の流出防止や減農薬、有機肥料の施肥など、環境にやさしい農業の推進に取り組む。
- 自前の育苗施設、乾燥調整施設、倉庫等の施設の建設を推進する

農機具・施設管理部

- 機械操作・作業等は安全第一で行うことが最も重要。このため、これまでと同様に引き続き、作業員全員への周知徹底と自覚を促し、いかなる

〔倉橋部町の農地は倉橋部町で守る!〕 〔次世代の為に新しい農業を構築しよう!〕

作業も無事故で終わることができるよう、常に作業マニュアルの再確認とミーティング等により安全作業を徹底し、事故防止に努める。

また、機械器具、施設は協働利用、共同の財産であることから、特に機械は適切な作業手順により、機械の特性やメカニズム等を熟知し、機械の延命遵守と合わせて安全を期すため、適正な取り扱いを行なうものとする。

これらは作業の原理・原則であり、オペレーター、作業者の共通課題としての浸透を図る。

- 使用する農機具全般にわたり、支障なく安全に作業ができるよう保守、点検、整備、管理に努める。
- 農作業が円滑に行えるよう農業施設、設備、工作物の補修を定期的に行なう。

水稻収穫後および代掻き前

- 格納庫、乾燥調整施設の新設については、整備検討委員会と協調しながら推進を図る。（財政状況がひっ迫している中、当面は検討も困難）

以上

平成27年度 倉橋部町グリーンファーム・主な営農作業(案)

(敬称略、順不同)

月	作業内容	作業時期	作業担当者	摘要
1	大豆後廻りスキ、平面耕起	1月	延良、政治、清広、孝、寛幸	1月中
3	肥料、農薬等の配送受	3月中旬	営農部	数量立会い
	小麦の穂肥の施肥	3月中旬～下旬		元肥一発型の為、生育状況にて施肥をするか判断する。
	中割作業	3月中旬	延良、政治、栄一、清広	ディスクロータリーによる
	畔塗り	3月下旬	延良、政治、栄一、清広	中割作業後
4	平面整地作業	4月上旬	延良、政治、栄一、清広、孝、寛幸	2WAY ロータリーによる
	発芽苗引取り	4月下旬	別途育苗農家	
	ハロー取り付け 田植機始動整備	4月下旬	農機具施設管理部	
	土手等の除草	4月下旬	各班割り当て田	
	水入れ	4月下旬	各班 水利担当	暗渠キャップ、尻水戸止水板
	代掻き	4月下旬～5月中旬	別途アンケート方式による作業割当	田植え予定
5	代掻き			日本晴、秋の詩、みずかがみ(5/1～)
	苗引き取り、田植			コシヒカリ、キヌヒカリ(5/12～)
	畦畔シート入れ	田植後	各班割り当て田	必要に応じて実施
	小麦赤カビ防除	5月上旬	無人へりによる散布	病害虫防除協議会に依頼
	小麦実肥の施肥	5月上旬	別途割り当て	
	ほ場内除草剤の散布	田植後	別途割り当て	中期剤散布、後期剤散布
	トラクターと田植機の洗浄、整備	田植終了後	農機具施設管理部	
	土手等の除草	5月下旬	各班割り当て田	
6	小麦収穫作業	6月中旬	別途アンケート方式による作業割当	
	麦わら焼却	小麦刈取後	別途割り当て	
	弾丸暗渠作業	小麦刈取後	別途割り当て	大豆作付予定圃場
	大豆用播種機整備	小麦刈取後	農機具施設管理部	

〔倉橋部町の農地は倉橋部町で守る!〕 〔次世代の為に新しい農業を構築しよう!〕

	大豆播種作業	小麦刈取後適期	別途アンケート方式による作業割当	整地～播種～中耕～防除 (中耕、防除は数回)
	水稻中干し作業	6月中旬～下旬	各班割り当て田	溝切り機による作業
	土手等の除草	6月下旬	各班割り当て田	
7	穂肥の施肥	7月適期	別途割り当て	コシヒカリ、秋の詩
	大豆中耕作業	7月中旬～	別途割り当て	
	土手等の除草	7月下旬	各班割り当て田	カメ虫対策
8	水稻防除	8月上旬	別途割り当て	病害発生予察に基づく
	大豆防除、除草剤散布	8月中旬	別途割り当て、全員対象	
	土手等の除草	8月中旬	各班割り当て田	カメ虫対策
	水稻刈取コンバイン整備	8月中旬	農機具施設管理部	
9	土手等の除草	収穫前適期	各班割り当て田	
	大豆防除	9月上旬	無人へりによる散布	病害虫防除協議会に依頼
	水管理給水止め作業	収穫前適期	水管理担当者	暗渠キャップ、止水板、波板の 回収・清掃
	水稻収穫作業	8月下旬～ 9月下旬	別途アンケート方式による作業割当	
	飯米乾燥、調整、引渡し	8月下旬～ 9月下旬	協力組合員、ナカエ等	
10	コンバイン洗浄、整備	10月上旬	農機具施設管理部	
	弾丸暗渠作業	10月上旬	別途オペレーター割当	転作予定圃場
	転作田スジ付け、回りスキ	10月適期	別途オペレーター割当	
	回りスキ後の排水作業	10月適期	各班割り当て田	
	小麦の播種作業	10月下旬	別途アンケート方式による作業割当	
	土手等の除草	10月下旬	各班割り当て田	
11	耕起作業ディスクロータリー取付	11月上旬	農機具施設管理部	
	土改肥料の施肥	11月上旬	営農部	次年度環境こだわり作付圃場
	耕起作業	11月中旬～	別途オペレーター割当	ディスクロータリーによる
12	大豆収穫作業	12月上旬	別途アンケート方式による作業割当	

〔倉橋部町の農地は倉橋部町で守る!〕 〔次世代の為に新しい農業を構築しよう!〕

大豆収穫作業後の圃場整地	12月中旬～	別途オペレーター割当	廻りスキ、平面耕起（2WAY）
--------------	--------	------------	-----------------

上記作業計画は年間の概要であり、実作業にあたっては農地の状況等を判断しながら、変更及び修正していきます。余裕を持って作業をお願いします。

ほ場周囲の草刈は、前年度と同様に班別で対応するものとし、方法については班に一任します。

（自走式草刈機の使用は、倉庫前のカレンダーに使用予定日を記入して下さい）

草刈時期は組合から指示し、労務費は一元管理、除草剤、混合油は組合で準備、その他の詳細はその都度連絡します。

施肥、除草剤散布の動力散布機はJ Aで都度借用します。

作業は、単独オペレータ作業以外は複数人数での作業をお願いします。作業後の確認をお願いします。

作業は、常に『安全第一』で実施して下さい。

今年度の作業も無事故で終わるように組合員の自覚と協力をお願いします。

〔倉橋部町の農地は倉橋部町で守る!〕 〔次世代の為に新しい農業を構築しよう!〕

自 平成 27 年 1 月 1 日

至 平成 27 年 12 月 31 日

	コード	勘定科目	金 額	割合(%)	主な内容
収入の部 (A)	4111	農産物売上高(水稻)	12,025,000	50.5%	H27 年産米JA概算払い・調整払い、H25 年産精算金
	4111	農産物売上高(小麦)	840,000 円	3.5%	H27 年産仮渡金、H25 年産精算金
	4111	農産物売上高(大豆)	1,168,000 円	4.9%	H26 年産仮渡金、H25 年産精算金
	4112	作業受託収入	290,000 円	1.2%	出夫不可申請分、出夫不足による徴求分等
	7111	受取利息割引料	1,000 円	0.0%	預金利息等
	7114	受取配当金	360 円	0.0%	JAグリーン近江出資配当金
	7118	雑収入	9,500,000 円	39.9%	経営所得経営安定対策制度に係る奨励、助成、補助金等
(合計)			23,824,360	100.0%	
費用の部 (B)	5412	種苗費	1,787,000 円	7.5%	水稻 1,427,000 円、小麦 200,000 円、大豆 160,000 円
	5414	肥料費	2,192,000 円	9.2%	水稻 1,392,000 円、小麦 350,000 円、大豆 450,000 円
	5414	農薬費	2,112,000 円	8.9%	水稻 1,131,200 円、小麦 400,000 円、大豆 400,000 円
	5452	動力燃料費	443,000 円	1.9%	軽油、ガソリン・混合油、オイル代等
	5455	減価償却費	2,600,000 円	11.0%	農機具等の償却費用
	5456	修繕費	713,068 円	3.0%	農機具に対する保守修繕費
	5457	租税公課	20,000 円	0.1%	トラック車検重量税・印紙税、自動車税等
	5458	地代、賃借料	3,735,000 円	15.7%	地代(1.8 万/反)3,641,184 円、レンタカー代
	5459	共済・保険料	650,000 円	2.7%	農業共済(水稻、小麦、大豆)の掛金、傷害共済の掛金
	5461	消耗品費	48,000 円	0.2%	
	5462	水利費	905,000 円	3.8%	西部土地改良水利費
	5463	施設利用料	2,900,000 円	12.2%	水稻 2,200,000 円、小麦 400,000 円、大豆 300,000 円
	5467	雑費	16,000 円	0.1%	
	6114	包装材料費	25,000 円	0.1%	米紙袋代
	6211	役員報酬	594,000 円	2.5%	理事報酬
	6226	厚生費	59,000 円	0.2%	総会費用等
	6214	減価償却費	0 円	0.0%	工具・器具・備品等の償却費用
	6217	事務用消耗品費	61,000 円	0.3%	事務用品等
	6221	租税公課	15,000 円	0.1%	利息の税金等
	6223	接待交際費	7,000 円	0.0%	
	6252	備品・消耗品費	12,000 円	0.1%	
	6228	諸会費	100,000 円	0.4%	JA グリーン近江賦課金、JA 労働保険料、自治会負担金
	6231	雑費	498,000 円	2.1%	吉永会計事務所顧問料他
		賃金	176,000 円	0.7%	組合員以外の労務費
	7511	支払利息	0 円	0.0%	JA 借入金に対する支払利息
		労務費他(従事分量配	4,004,000 円	16.9%	労務費、水利手当金、班長手当、特別出夫、育苗代金
		法人税、住民税	72,200 円	0.3%	県民税、市民税の均等割負担分
(合計)			23,744,268	100.0%	
収支利益金 ((A)-(B))			80,092 円		

計画損益計算書(案)

自 平成27年 1月 1日

至 平成27年12月31日

	コード	勘定科目	金 額	割合(%)	主な内容
収入の部 (A)	4111	農産物売上高(水稻)	12,025,000円	50.5%	H27年産米JA概算払い・調整払い、H25年産精算金
	4111	農産物売上高(小麦)	840,000円	3.5%	H27年産仮渡金、H25年産精算金
	4111	農産物売上高(大豆)	1,168,000円	4.9%	H26年産仮渡金、H25年産精算金
	4112	作業受託収入	290,000円	1.2%	出夫不可申請分、出夫不足による徴求分等
	7111	受取利息割引料	1,000円	0.0%	預金利息等
	7114	受取配当金	360円	0.0%	JAグリーン近江出資配当金
	7118	雑収入	9,500,000円	39.9%	経営所得経営安定対策制度に係る奨励、助成、補助金等
(合計)			23,824,360円	100.0%	
費用の部 (B)	5412	種苗費	1,787,000円	7.5%	水稻1,427,000円、小麦200,000円、大豆160,000円
	5414	肥料費	2,192,000円	9.2%	水稻1,392,000円、小麦350,000円、大豆450,000円
	5414	農薬費	2,112,000円	8.9%	水稻1,131,000円、小麦400,000円、大豆400,000円
	5452	動力燃料費	443,000円	1.9%	軽油、ガソリン・混合油、オイル代等
	5455	減価償却費	2,600,000円	11.0%	農機具等の償却費用
	5456	修繕費	713,068円	3.0%	農機具に対する保守修繕費
	5457	租税公課	20,000円	0.1%	トラック車検重量税・印紙税、自動車税等
	5458	地代、賃借料	3,735,000円	15.7%	地代(1.8万/反)3,641,184円、レンタカー代
	5459	共済・保険料	650,000円	2.7%	農業共済(水稻、小麦、大豆)の掛金、傷害共済の掛金
	5461	消耗品費	48,000円	0.2%	
	5462	水利費	905,000円	3.8%	西部土地改良水利費
	5463	施設利用料	2,900,000円	12.2%	水稻2,200,000円、小麦400,000円、大豆300,000円
	5467	雑費	16,000円	0.1%	
	6114	包装材料費	25,000円	0.1%	米紙袋代
	6211	役員報酬	594,000円	2.5%	理事報酬
	6226	厚生費	59,000円	0.2%	総会費用等
	6214	減価償却費	0円	0.0%	工具・器具・備品等の償却費用
	6217	事務用消耗品費	61,000円	0.3%	事務用品等
	6221	租税公課	15,000円	0.1%	利息の税金等
	6223	接待交際費	7,000円	0.0%	
	6252	備品・消耗品費	12,000円	0.1%	
	6228	諸会費	100,000円	0.4%	JAグリーン近江賦課金、JA労働保険料、自治会負担金
	6231	雑費	498,000円	2.1%	吉永会計事務所顧問料他
		賃金	176,000円	0.7%	組合員以外の労務費
	7511	支払利息	0円	0.0%	JA借入金に対する支払利息
		労務費他(従事分量配当)	4,004,000円	16.9%	労務費、水利手当金、班長手当、特別出夫、育苗代金
		法人税、住民税	72,200円	0.3%	県民税、市民税の均等割負担分
(合計)			23,744,268円	100.0%	
収支利益金 ((A)-(B))			80,092円		